

かざね
四万十の風音

しんせん
森&川だより



滑床溪谷「雪輪の滝」

**当センターでは森林環境教育について
ご相談を受け付けています。**

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言などにより不要不急の外出自粛が求められ、学校が休校になるなど、いつもと違う日常生活となりました。当センターでも新型コロナウイルスへの対応のため予定していた早春から初夏にかけての森林環境教育やイベントは中止となりました。

しかし、国民ワチームで忍耐と努力の結果、感染症もやっと落ち着いてきたところではあります。このままの状態では、当センターで受け入れする森林環境教育を再開することが可能となります。

当センターでは、国有林のフィールド（国民の森林）を使った森林環境教育（森林教室・木工教室・林業体験・森林散策等）や小中学校や高校、放課後児童クラブなどへの出前授業、学校林での活動など、教育関係者、NPOの団体の方々などからの様々な相談を受け付けており、できる限りの対応をいたします。お気軽に当センター（下記）までご相談下さい。

農林水産省 四国森林管理局
四万十川森林ふれあい推進センター
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031



四万十川流域スケッチ

四万十川流域の自然はいつもと変わらない姿を見せてくれました。今年の早春から初夏にかけてのスケッチです。



黒尊山のツツジ(3月)



黒尊山のミツマタ(3月)



黒尊川の桜(4月)



四万十川のキシツツジ(4月)



黒尊山のタラの芽(4月)



愛媛県境、広見川の桜(4月)



黒尊山のオンツツジ(5月)



黒尊川の藤(5月)

三本杭付近でのシカ食害防止の取組をしています。

高知県と愛媛県の県境に位置する滑床山国有林周辺は、足摺宇和海国立公園に指定される等貴重な景観や亜熱帯植物などがみられる非常に重要な地域です。ところが、平成12年頃からニホンジカによる食害により、ミヤコザサなどの植生が消失し裸地化した状況が三本杭周辺など一部で確認されています。

当センターでは、三本杭付近の植生を回復させるため、平成18年からボランティアや地元自治体、有識者など多くの方々の協力を得て、ミヤコザサの移植を行うとともに、獣害防護ネットの設置に取り組んでいます。

設置した防護ネットは強風による倒木や雪の影響で支柱が折れたり防護ネットを破損することもあり、定期的な見回りと補修などメンテナンスが必要です。写真は支柱を取り替えている様子です。

これからも食害により裸地化している箇所には防護ネット柵を追加設置するなど植生の回復を図っていきます。

また、三本杭山頂などに至る歩道の刈り払いを行っています。登山等で当地を訪れる方には、防護ネットの出入口を開閉していただくなどご不便をおかけしますが、植生回復のためご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



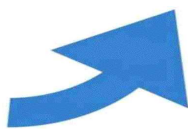
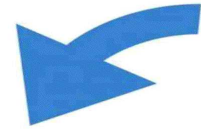
補修中



補修後



たるみ、防護ネット出入口付近
の草刈後



たるみ、防護ネット出入口付近
の草刈前

大道マツ再生試験地のシカ防護ネットの点検修理

4月28日に四万十町大道の古屋山^{ふるやま}国有林2060林班ち小班の大道マツ再生試験地(0.12ha)のシカ防護ネット柵の周りを点検したところ、雑木類が生い茂り、プラアンカー(プラスチック杭)が一部浮いて隙間ができていたり、枯れ木の倒木でネットが一部破損した状況であったので、5月28日にネット周囲に繁茂した雑木類の伐採と林内歩道の草刈、ネットの応急処置を行いました。

また、アカマツ幼樹(大道マツ後継樹)の被害状況を確認したところ、幸いアカマツ自体の被害は無く、順調に生育していました。

これからも、シカ防護ネット柵の点検・補修を行ってメンテナンスに努めます。



大道マツ再生試験地



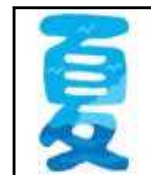
雑木類の伐採作業の様子



草刈作業の様子



作業後



農林水産省 四国森林管理局
四万十川森林ふれあい推進センター
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031

